

令和6年度 鳥取県文化功労賞
受賞記念巡回展



文芸
(短歌)

北尾 勲
Isao Kitao 鳥取市



書道

森田 尾山
Bizan Morita 米子市

鳥取県では平成15年度から、優れた文化芸術活動により広く文化の振興に功績のあった方の功労を讃えて表彰し、県民文化の向上発展に資することを目的として、鳥取県文化功労賞を設けています。本巡回展は、令和6年度に受賞された方の功績と活動を広く県民のみなさまに紹介するものです。

各会場とも入場無料

中部会場

令和7年 2月28日(金) ▶ 3月5日(水)

倉吉博物館 第4展示室

午前9時～午後5時 ※3月3日(月)休館日
倉吉市仲ノ町3445-8 TEL:0858-22-4409

西部会場

令和7年 3月8日(土) ▶ 12日(水)

米子コンベンションセンター 情報プラザ

午前9時～午後5時 会期中無休
米子市末広町294 TEL:0859-35-8111

東部会場

令和7年 3月15日(土) ▶ 19日(水)

鳥取市文化センター 展示ホール

午前10時～午後6時 会期中無休
鳥取市吉方温泉3丁目701 TEL:0857-27-5181

受賞者ギャラリートーク

受賞者による展示作品等の解説を行います。

森田 尾山氏

令和7年 3月9日(日) 午前10時30分～11時
米子コンベンションセンター 情報プラザ

北尾 勲氏

令和7年 3月15日(土) 午前10時30分～11時
鳥取市文化センター 展示ホール

変更・中止などのお知らせは、
鳥取県文化政策課のホームページに掲載します。



この度の巡回展では受賞者の過去から近年までの代表的な作品のほか、
これまでの業績や活動を振り返る資料などを展示します。



北尾 勲 Isao Kitao 鳥取市



森田 尾山 Bizan Morita 米子市

昭和16年生まれ。

現代短歌を牽引した歌人・前登志夫氏に師事し、詩と民俗の研究集団「山繭の会」結成に参加。批評性・時評性に優れた機関誌として評価される歌誌『ヤママユ』の同人、運営委員を務めた。また、山陰ヤママユの会においても機関誌『鳥髪』を創刊し、編集発行人として運営にあたった。

活動の成果として歌集『樹』（新星書房、昭和45年）、『野の時間』（石川書房、昭和58年）、『水の風景』（私家版、平成23年）を出版したほか、県歌人会の会長・顧問として短歌の普及を図ると共に、県総合芸術文化祭評価委員会の委員を務める等、文化振興に広く貢献した。

現在も、鳥取市主催「大伴家持大賞」等の選者や小中学校への出前短歌講座の講師、短歌教室の開講等、子どもたちを含めた幅広い世代へ短歌の魅力を伝え、地域文化の振興に大きく貢献している。

昭和17年生まれ。

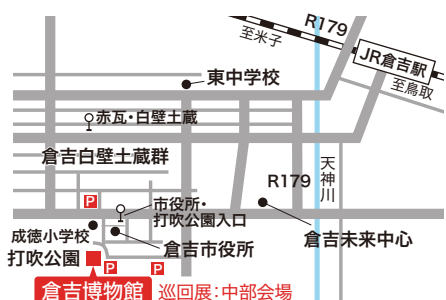
文化勲章受章者の書家・村上三島氏をはじめ、古澤宥邨氏、栗原蘆水氏に師事。日展、日本書芸院展、読売書法展等で数々の賞を受賞し、平成13年には日展会友に昇格する等、全国的に高い評価を得た。

独創性豊かな自身の書作と並行して、20代から書道グループ「伯耆書院」を主宰し、これまでに22回「伯耆書院展」を開催してきたほか、各書道教室の講師を務めるなど、永年にわたり後進の指導・育成に尽力してきた。

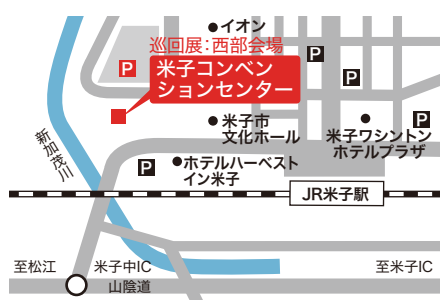
近年は、写真、音楽、地元サッカーチームなど異分野との交流、協力によるコラボレーションワークにも精力的に取り組み、美術館等での発表を続けている。

淀江町教育委員会教育委員、米子市教育文化事業団理事、鳥取県書道連合会副会長を務めたほか、県展等の運営委員・審査員を歴任するなど、郷土における書道文化の普及に大きく貢献している。

○ 会場・アクセス



- JR倉吉駅バスターミナル2番のりばから市内線バスで(赤瓦・白壁土蔵(明治町))下車。もしくは広瀬線・松崎線・パークスクエア線バスで(市役所・打吹公園入口)下車。



- JR米子駅北口から徒歩5分。
- 山陰道・米子中I.C.から車で約5分。
- ★ 車でのお来場はビッグシップ前駐車場(米子駅前簡易駐車場)をご利用ください。会場内にて割引処理をします。



- JR鳥取駅から徒歩約15分。
- 鳥取バスターミナル(JR鳥取駅横)から若桜・岩倉線など「文化センター前」下車。
- 100円循環バス「くる梨」赤コースのバスで(鳥取市文化センター)下車。